

新治市民の森

楽しかったです！初めて知りました！という感想を聴けたときによかったなと思います

緑区の新治市民の森で森づくりボランティア活動をされている仲田（なかだ）さん、大潤（おおま）さんのお二人にお話をお聞きしました！

★講座について

Q1. なぜこの講座を受けようと思われたのですか

A1. 友達に誘われて受けてみようと思いました（仲田さん）。インタープリター自体はよくわかりませんでしたが、自然の勉強がしたくて、系統的にきちんと教えてくれるような感じでしたので受けてみました（大潤さん）。

Q2. 印象に残っている内容やその後の活動に役に立ったと感じる内容はありましたか

A2. 講座の中で、蜘蛛の巣を描いてみようという内容があり、印象に残っています。描いてみて実はよく知らないということが分かり、ただ観察に行こうといわれて見に行くのではなく、教室で投げかけられて見たくてたまらない気持ちになってから行く方が、興味深く、よく見るようになりますね。その前振りが大事なのだと思いました（仲田さん）。

授業の最後にグループでテーマを作り、他の方に発表するというのが印象深かったです。最初は、花の名前や鳥の名前を知らなくてもいいと言われました。インタープリターはそれよりも周りの環境や成り立ちなど関連することでみんなに知ってもらうことがまずあって、個体の種類などは後からでもよいといわれ、どんな講座かわからずに受けたので、それを聴いて安心したのを覚えています（大潤さん）。



大潤さん



仲田さん

～profile～

新治市民の森のウェルカムセンターである「いはる里山交流センター」では月に1度「旬の里山探訪」という自然観察イベントを行っている。

仲田さんと大潤さんは新治市民の森の愛護会員として森づくりボランティア活動をするかたわら、交流センターのボランティアチーム「新治里山公園運営プロジェクト」の自然観察IP部会にも所属し、「旬の里山探訪」でインタープリター（IP）として森の案内をされている。



ヤマユリ



マユミ



愛護会活動の様子

公園路沿いの草を刈っています
日頃の丁寧なお手入れにより、新治市民の森では様々な季節の植物が見られます

★活動について

Q3. 普段どのような活動をされていますか

A3. 普段は愛護会で活動しています。愛護会活動は毎週ありますが、その中で来られるときに活動に参加しています。愛護会に入って5年ほどで、IP部会も同じくらいです（大潤さん）。愛護会は11年ほど続けています。IP部会は6年くらいだと思います（仲田さん）。

愛護会は毎週、こども森の日は年に4回、インタープリター（IP部会）は月に1回、活動しています。「旬の里山探訪」で観察会をしているので、毎週どんな花が咲いているのかなど自主的に確認をしています。

Q4.何かご自身で工夫されていることや気を付けていることがあれば教えてください

A4.愛護会のような保全活動をしている人には貴重な植物のこと、一般来園者には、園路沿いの花情報や植物にまつわる話など、その人に応じて興味をもってもらえるように話しています。例えば子どもには、水中にいるトンボのヤゴを見せながら、ただ見せるのではなく、生態の中でこの生き物はこんなところにいるんだよというのを分かりやすいように伝えています。

自然観察会では、訪れた方に興味を持ってもらえるよう、植物の名前を伝えるだけでなく、なるべく実物を見せながらその植物の面白さを伝えています。例えばタネが特徴のある植物などでは、マクロ（拡大）撮影した写真を用意してタネの様子を興味深く伝えられるように工夫をしています。（仲田さん）

Q5.その活動に至ったきっかけは何ですか？

A5.愛護会の作業で、植物の名前が分からず、もっと勉強したいと、いはいは里山交流センターの吉武さんに相談したところ、IP部会に入ってみたらと誘われ、入りました（仲田さん）。

横浜市緑区の生涯学習講座のグループで新治を知り、最初は参加者でしたが、自分でも会の仲間に入れてほしいなと思い仲間に入りました。横浜市で行っている森の研修があり、そこで市民の森の活動を知り、そこから1年くらいたって市民の森の活動を始めました（大潤さん）。



新治市民の森の広場

↑様々な季節のイベントが開催されています



新治市民の森の谷戸田

↑新治里山「わ」を広げる会が活動しています

★活動のやりがい

Q6.その活動をされていておもしろいと感じられることはどんなところにありますか

A6.旬の里山探訪で「すごく楽しかったです」「このようになっていたことを初めて知りました」という感想をいただいたときによかったなと思います（仲田さん）。

自然の変化を見られることが面白いと思います。いろんな瞬間に立ち会え、仲間からも今こんな植物が咲いているよという情報をいただけるのがいいですね（大潤さん）。

「旬の里山探訪」の様子



参加者の皆さんを案内・解説する大潤さん

「旬の里山探訪」の様子



参加者の皆さんを案内・解説する仲田さん

★今後のビジョン

Q7. 今後やりたいと考えている活動内容がありますか

A7. IP部会では詳しい方もおり、新治を見てくださる方がいるので、緑を守りながら、なかなかコロナで人が接触するような活動が難しい中ではありますが、もっともっといろんな人に来てもらえるようにしていきたいと思います（大潤さん）。

もっと自然に対する知識を広げ、自然のおもしろさ、楽しさを新治に来てくれた方にわかりやすく伝えていきたいです（仲田さん）。

Q8. どのように森と関わっていききたいかなど今後の活動のビジョンがありましたら教えてください

A8. 昔からある新治の森を守りたいです。そのために「旬の里山探訪」などで森を知ってもらえるのはうれしいですが、シュンランなど貴重な動植物を持って行ってしまいう人がいて、森を守るためにはどうしたらいいか森とのかかわり方を私たちも勉強しながら来る人たちにも学んでほしいと思います（お二人）。

Q9. 最後に、自然の中での活動に興味のある方に向けて、メッセージをお願いします！

A9. 活動の場が遠いと大変なので、自分の家の近くで活動の場を見つけるのがいいと思います。飛びこんでみれば、知識も仲間も増え、人生楽しくなりますよ。



市民の森とは？

緑を守り育てるとともに、土地所有者の方々のご協力により、市民の憩いの場として公開している横浜市独自の制度です。

●新治市民の森愛護会 活動について

活動日：毎月第一、第三土曜日、第二、第四日曜日
第四水曜日

会員数：約80名(令和5年1月現在)

活動内容：野草の保全や草刈り、間伐
などの森づくりボランティア活動

●新治里山「わ」を広げる会 活動について

・新治里山公園運営プロジェクト 自然観察IP部会

活動日：第一水曜、第三水曜ほか

会員数：14名(令和5年1月現在)

活動内容：旬の里山探訪の運営、植物の保全調査、
いはる里山交流センターコンシェルジュ等

・新治谷戸田を守る会（森づくりボランティアの活動）

活動日：毎週土曜

会員数：約60名(令和5年1月現在)

活動内容：市民の森内の谷戸田の保全。2.5反で稲作作業